

「第1回 ITER 科学・技術意見交換会」開催のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、先にご案内しましたとおり、従来より開催して参りました「ITER 工学設計意見交換会」をより発展させる形で、調整委員会の下に「ITER 科学・技術意見交換会」が新設されました。

この意見交換会は、国際協力で進めつつ日本における核融合研究開発の中核装置(実験炉)でもある ITER に関し、その設計、開発、試験、製作、建設などの最新状況について理解を深めるとともに、ITER 理事会下の科学技術諮問委員会(STAC)での議論や検討に資するため国内専門家(産業界、大学、研究機関等)の意見を広く集約する良い機会であると核融合エネルギーフォーラムでは位置付けられています。

その第1回会合を国内専門家を対象に核融合ネットワークと合同で下記要領にて開催することになりましたので、ご案内します。

参加ご希望の方は、下記「参加申込み書」にて事前登録をお願いします。是非ご参加ください。

記

日 時:平成 25 年 9 月 10 日(火) 10 時～16 時(予定)

会 場:核融合科学研究所 管理棟4階第 1 会議室

岐阜県土岐市下石町 322-6

TEL: 0572-58-2222

会場 URL: <https://www.nifs.ac.jp/michi/index.html>

プログラム(案)

1. IFRC 報告(FEC2016 日本開催他)
2. ITER の全体的な進捗状況
3. 日本の核融合研究開発施策(文科省・坂本戦略官)
4. ITER の設計・開発・試験・製作・建設の最新状況
 - ・第 14 回会合(2013 年 5 月)までの STAC 審議状況
 - ・STAC での技術課題 (1):(2)を除く主要事項
 - ・STAC での技術課題 (2):初期ダイバータ材選択
5. 総合討論
6. BA 活動の最近の進捗状況

○参加申込先・お問い合わせ先:

核融合エネルギーフォーラム会員として参加希望の場合は、
核融合エネルギーフォーラム事務局

E-mail: fusion-energy-forum@jaea.go.jp

FAX: 029-270-7468

○申込締め切り:

平成 25 年 8 月 30 日(金曜日)※期限厳守

以下の点に是非ご留意下さい:

・核融合エネルギーフォーラム会員である国内専門家として参加される場合、事前登録を必ずお願いします。非会員での参加はご遠慮下さい。

・本会合の録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。

・本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。但し、時間の制約などでご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。

・コメント等がありましたら参加申込書の該当欄にご記入下さい。

・航空機を利用予定の方は事前に事務局までご相談下さい。

主な利用条件は以下です:

- 1) 早期割引チケットのみ利用可
- 2) 特別シートの利用は自費負担
- 3) マイレージポイントの私用カードへの登録は自粛
- 4) 半券、領収書、印鑑の持参、など(事務局宛後日郵送可)

補1) 会合終了の遅れなど、やむを得ない理由でフライト変更
が必要になった場合は申請内容を確認して発生した追加
費用を支給。

補2) 宿泊ホテルとセットになった切符の利用は不可。

----- 参加申込み書 -----

送 付 先: fusion-energy-forum@jaea.go.jp

029-270-7468(FAX)

第1回 ITER 科学・技術意見交換会にフォーラム会員として参加

氏 名:

会員番号:

所属職位:

連絡先:

eメール:

旅費希望:(あり・なし)

附帯用務:(あり・なし)

前泊有無:(あり・なし)ヘリコンクラブ利用者は領収書提出

発着駅名:

出張日程: 日～ 日(泊)

コメント欄

核融合エネルギーフォーラムから国内専門家として参加する場合、会合出席や参加に伴う旅費支給は会員に限らせていただきます。

未入会の方は、この機会に是非ご入会下さい。入会ご希望の方は、
<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>のトップメニュー「概要」内の「入会案内」をご覧ください。

入会に当たり会費及び入会費は不要です。

旅費には限りがあり、支給できない場合が多々ございます。予めご承知置き下さい。

以上